今回の運営委員会

浜松高台支店

HAMAMATSU TAKADAI SHITEN

このコーナーでは、独自の活動を展開する運営委員会の様子を紹介していきます。

運営委員会とは…

会員（組合）の代表者と〈ろうきん〉の営業店職員で構成される組織。〈ろうきん〉の運営を民主的に行うため、理事会に向けて各員の率直な意見を発信するとともに、理事会で決定した方針や事業計画を各営業店の立場から、より具体化して地域会員・勤労者に展開しています。

運営委員長
髙橋淳一郎さん
本田技研労働組合
浜松支部執行委員長

副運営委員長
野沢恒年さん
エフ・シー・シー労働組合
執行委員長

副運営委員長
吉崎圭介さん
トクラス労働組合
執行委員長

副運営委員長
長澤雄介さん
アツミテック労働組合
副委員長

副運営委員長
鶴見俊輔さん
ヤマハ発動機労働組合
浜松支部執行委員長

加藤幸嗣さん
浜松高台支店
支店長

ツナガル！ヒロガル！ろうきん運動の輪

働く人の「想起率」を向上させ、利用を増やそう!!

特徴的な取り組みでレベルアップ

髙橋／2016年度に開設30周年を迎えた浜松高台支店の運営委員会は、地域における役割発揮や支店の事業目標達成に向けた運動を力強く推し進めました。運営委員会活動や自組織の〈ろうきん〉運動推進に積極的に携わっていくため、グループ討議の充実を図るとともに、「知らせる活動」としてSL作戦、運営委員の知識向上を目的としたミニセミナー&チェックテストの実施等、他店にない特徴的な取り組みを通して常に運営委員会会員のレベル向上を図っています。

グループ活動による運営委員会の活性化！

加藤／浜松高台支店の運営にあたる運営委員会には、自動車関連の労働組合を中心に13会員・16名に参加いただいています。運営委員会では数年前より、なるべく報告の時間を短くしてグループ討議による運営委員同士の対話の時間を取れるよう取り組んできました。

グループは2つに分けられ、『広報グループ』では地域勤労者に〈ろうきん〉を知らせ利用拡大を図る活動や、組合員へ「より伝わる」教宣方法の討議と会員への提案を行っています。『教育グループ』では運営委員の知識向上に向けた取り組みや、地域勤労者に役立つセミナーを企画・運営しています。

吉崎／グループ討議を進めるうえで、いかに話し易い環境を作るかも大切なポイントです。今まで当たり前のように用意していた「お弁当」をやめて、話しながらつまめるサンドイッチとお菓子に変えるなどの工夫をし、気軽に話に参加できる空気作りが私たちの大切な役目だと思っています。

鶴見／報告が中心だと運営委員同士の対話の時間が少なく、やっと盛り上がってきた頃に終わってしまうことが多いのですが、このグループ討議では運営委員相互のコミュニケーションも充分図れますし、皆さんが自然に話に参加することができる良いスタイルだと思います。

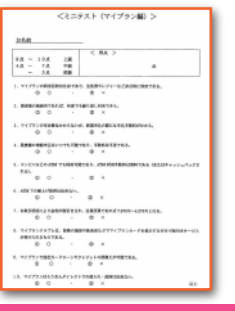
「SL作戦」ってなんだ？

いかに〈ろうきん〉を思い出していただけるか、気軽に声をかけていただけるかをテーマとし、広報グループを中心に「知らせる活動」の一環として取り組んでいるのが浜松高台支店の「SL作戦」です。

運営委員も毎月テストを受けている!?

長澤／その名も「セミナー&理解度チェックテスト」！各会員の代表として参加している運営委員の皆さんの知識向上を目的に、運営委員会の冒頭で商品・制度に関する10分程度のミニセミナーを開催し、翌月の運営委員会でミニテストを実施しています。これは勉強熱心な浜松高台支店運営委員会ならではのユニークな取り組みだと思います。

また、他行との比較もしながら〈ろうきん〉の強みを明確にしていくためにも運営委員の理解度を上げる必要があると思います。



野沢／この活動の名称は「生保レディ」の略です。ただチラシ・ティッシュを配るだけでなく、一人一人との面談を大切にして企業の食堂等で声掛けをしている「生保レディ」の活動を参考にして、2014年より各労働組合と会社に協力をいただきながら推進している声掛け活動です。お昼休みに食事が済んで休憩している組合員に、〈ろうきん〉からローン等の商品のご紹介をするだけでなく、会員の皆さまに親しみを持っていただくことを目的に、雑談も含めたツーウェイコミュニケーションを心掛けており、今では、組合員から声をかけていただいて、実際にお申し込みにつながる機会も増えてきました。

髙橋／ここ一年で、お金の問題で「困った」という組合員が何人か、直接組合に相談してくれるようになってきています。〈ろうきん〉の商品に関することだけではなく、お金にまつわるプライベートな困りごとに関して、まず組合に相談いただける信頼関係が築けてきたという点で大きな成果だと感じますし、浜松高台支店における一つ一つの取り組みの積み重ねによるものだと思っています。これからも自信を持って運営委員の皆さんと一緒に取り組んでいきます。

次回はどの支店に訪問するかお楽しみに！

会員と〈ろうきん〉のオモシロ共同取組み

みんなの住宅取得体験談集『しくじりBOOK』榛南支店運営委員会編

しくじった…。

Q.「しくじりBOOK」を作ろうと思ったキッカケは？

「ろうきん いいね！」を組合員から広げたくて、運営委員会で何ができるか考えました。最初は運営委員会主催で「住宅の現場見学会」を企画していました。しかし多くの組合員で共有するという意味では弱いのではないか、ということで「体験談集」を作成し、体験談から相談・面談という流れを作ろうと思いました。

Q.なぜ「しくじりBOOK」という名前に？

テレビ番組の影響で「しくじりブーム」だったので…、そういう流れにはしっかり乗りますよ♪

Q.作ってみてどうですか？

しくじり事例の募集を各組合で行いましたが、みんな結構ノリノリで出してくれました。おかげでたくさんのしくじり事例が集まり、いいものができたと思います。

Q.「しくじりBOOK」のこだわりは？

「すべて組合員の生の声」という点です。広告などには「いいこと」が書いてありますが「実際どうよ？」が一番知りたいトコロです。組合員の中には成功体験（自慢？）も出してくれましたので、成功と失敗を一冊で知ることができます！

モデルはM運営委員長です。

榛南支店では、「しくじりBOOK」を活用して組合員の納得できる家づくりに貢献していきます！
また、「しくじりBOOK」を見たい方はぜひ榛南支店までお気軽にご連絡ください♪